

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. バイオマス発電事業について ①進捗状況について伺う。 2. Jクレジットについて ①販売量の増加により、保有量が8月末で2,100tまで減少するが、今後の販売量、保有量についての取り組みを伺う。 3. セントラル農場の環境問題について ①濁り、泡発生の特定期間はいつまでに完了する予定なのか伺う。	1. ①当初計画から事業進捗は遅れているが、事業実施に向けて引き続き調整中である。 2. ①脱炭素社会の形成、SDGsの推進など引き続き社会情勢をとらえながら、現在の取り組みを進めていく。また、保有量の確保については、町内企業との連携を含め検討していく。 3. ①原因の特定期間は現在未定であるが、データを蓄積し、条件が整ったうえで、速やかに調査分析に着手できるよう関係者と連携して準備を進めている。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 多文化共生の取り組みについて ①ALTの受け入れ及び活動状況について伺う。 ②現在アメリカのシアトル、モンゴルゾーンモド市と交流しているが、コロナ禍における国際交流の取り組みを伺う。	1. ①現任のALT（外国語指導助手）は9月末に任期が終了する。後任は既に決定しており、11月初めには日南町に赴任する予定である。ALTの活動については、主に小中学校の英語の授業において指導助手として業務を行っている。また、学校行事や保育園での活動等にも参加し、英語教育はもとより異文化の普及・交流にも努めている。 ②平成27年度からシアトルの中学生と交流を行っている。毎年、海外派遣事業も実施していたが、一昨年度、昨年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となった。今後も新型コロナウイルスの感染状況や国の動向、アメリカの状況等を踏まえ、現状のオンラインでの交流も含め継続したい。また、モンゴルゾーンモド市とはコロナ禍の中、交流支援員がメール等で情報交換を行っている。今後はモンゴル日本語学級生と本町小学生とのオンライン交流、日本語弁論大会における通訳などを行う予定。町内では様々な団体との交流に取り組んでいる。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 地域コミュニティ活性化交付金について ①令和4年度から地域コミュニティ活性化交付金制度を創設されるが、改めてこの制度の目的を伺う。 ②交付金について次のことを伺う。 ・ 交付金額の算出方法 ・ 交付金の使途の制限 ・ 交付金の交付の流れ ・ 交付要綱の制定時期 ③自治会・班に向けて制度説明（納税奨励金の廃止も含め）を行うべきと考えるが、説明会はどの程度実施されたのか伺う。	1. ①地方創生を推進する中で、まちの持続と発展、一人ひとりがつながることを目的としている。 ② 【算出方法】 構成世帯数（住基ベース）× 定額 【使途の制限】 条件は設けないが交付金により期待される効果を明示したい。 【交付の流れ】 町から班などの構成団体へ直接交付を予定。事務の詳細は今後詰めていく。 【交付要綱の制定時期】 令和4年度予算成立後となる来年3月頃を予定。 ③これまで納税制度の変更と新制度検討について周知してきた。今後、新制度の内容について地域の各班長に参集いただく形で各自治会・各まち（むら）づくり協議会単位で説明を進めていきたい。
2. キャッシュレスシステム導入事業について ①キャッシュレスシステム導入委託契約に関する経過を伺う。 ②事業の主な目的は地域内経済の循環を促進することにあるが、事業に参加予定の商工業者数について伺う。 ③現在、町内で運用されているポイントカード等を当システムに統合することについての検討状況を伺う。 ④行政ポイントの付与に関し、検討されている具体的事例を伺う。	2. ①7月16日公募型プロポーザルの公告、8月6日事業選定委員会の実施（応募1者）、候補者として選定。8月20日付け契約締結を行った。 ②開始時50店舗程度の参加を目指している。 ③システム移行へ向けて準備いただいている。詳細は検討中であり、分かり次第周知を支援する。 ④内容精査中であり、具体的事例は現時点で控えたい。基本的方針は町総合計画、総合戦略等

⑤この事業を運用するにあたり、カード及びスマートフォンアプリの利用者説明会を開催すべきと考えるがどうか。

に位置付ける施策の推進を図ること、住民参画によるコミュニティの活性化を図ることを想定している。

⑤対面での説明会のあり方はコロナ禍において多くの皆さんに参集いただきにくいとため、状況を見ながら判断したい。現在、ケーブルテレビやYouTubeでの利用者向け番組の制作検討を行っている。要望に応じた柔軟な形での周知に努めたい。

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 米価下落対策について ①コロナ禍の長期化により米の需給環境は悪化し、今年産の生産者米価は全国平均で30kg 4,500円～5,000円台との情報である。 JA鳥取西部はまだ概算金の公表をしていないが、低米価が想定される。農協、鳥取県などと連携して政府に抜本的な対策を求めたいがどうか。 ②コロナ禍、新自由主義によるサプライチェーンの問題点が浮き彫りになるなか、日本の食料自給率は37%である。SDGsの基本理念は「日本の食料は日本の大地から」だと考えるが、自民党農政で農村・農業は発展したか、見解を問う。	1. ①令和3年産米の概算金が発表され隣県と同様に5,000円台となっている。しかし、本町農業の中心は未だ水稻であるため、農協、県再生協議会と連携し水田農業の在り方について対策を求めている。 ②食生活の多様化、消費者志向の変化により、産地と消費者の距離は縮んでいる。また、企業の農業参入など農業の構造変化により「強い農業」の実現を目指している。
2. ウッドショック(木材価格の高騰)について ①コロナ禍で欧米などから外国産材の輸入が大幅に減少し国産材の市場価格が高騰し、林業の町日南町にとっては好材料と言える。(株)米子木材市場、(株)オロチ、山陰丸和林業(株)、日南大建(株)などに集積している木材の材積の状況はどうなっているか。 ②ウッドショックを受けて町有林の経営審議会は開催されているか。	2. ①コロナ禍、景気の見通しに不安はあるが町内の素材生産については堅調で、木材団地への集積はコロナ禍以前と遜色がない状況である。 ②ウッドショックを受けての経営審議会は開催していない。
3. コロナ禍での新学期について ①全国的にデルタ株が猛威を振るい、感染爆発がつつくなか新学期が始まった。児童・生徒や保護者は不安な日々を送っていられると思うが、小中学校でのコロナ対策について伺う。	3. ①県内においても感染者が急増する中、学校現場には、より一層の緊張感を持った取り組みを依頼している。感染予防対策等に関しては、国や県の衛生管理マニュアルやガイドライン等をもとに、様々な対策を講じている。また、学校の手洗い場等の自動水栓化も完了し、校舎内各所に手指消毒液を増設するなど、環境面の充実を図ると共に、毎日の検温や健康観察票の提出等、保護者の理解と協力を得ながら、関係者

②オンライン授業の進展状況について伺う。

が一丸となって安全な学校づくりに努めている。

②小中学校の児童生徒全員に e-ラーニング教材のアカウントを配布するなど、家庭でも学習ができる体制づくりを進めている。GIGA スクール構想による児童生徒1人1台のタブレット端末整備も完了し、Google Meet を利用したオンライン授業のための環境整備もおおむね完了している。また、夏季休業中に学習補充のためのオンライン授業を実施した学年もあり、学校の臨時休業等に備えた取り組みを進めている。

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
1. 特別障がい者手当の受給について ①町で要介護4または5の認定を受けている方の内、住居・施設の種類からして何人が特別障がい者手当を受給できる可能性があり実際に何人が受給しているか。 ②町として受給の可能性のある方にどのような働きかけをしているか。 ③日南病院で特別障がい者手当受給に必要な診断書を書いてもらえるか。また、受給の可能性のある方にどんな働きかけをしているか。 2. 住宅問題について ①公営住宅への入居要件が厳しい単身の方や結婚していてもお子さんのない方などのため町営住宅とは別に住宅を設置する考えはないか。 ②第2期総合戦略では移住・定住のために「すぐに入れる物件」の確保が重視されている。そのような物件を確保するため町が空き家を借り上げてリフォームする方法もあるが、そのような方法をとる考えはないか。 3. ごみ処理広域化と用地選定について ①ごみ発電の取りやめや、プラスチックごみの分別・再商品化の徹底など基本的な方針変更があった場合、施設基本設計だけでなく基本構想にも大幅な変更が必要ではないか。	1. ①医師の診断書に基づき、判定を行うことから何人が受給できる可能性があるかのご質問には不確定要素が多く実数は把握できない。本年3月31日現在の受給者は、在宅で要介護4および5の方が各1名の計2名である。 ②新規の障害者手帳交付の際に障がいに関する事項をまとめた冊子をお渡しする時や、「在宅支援会議」の中で制度の共有をし、該当する可能性のある方への周知に努めている。あわせて、町のホームページや、「広報にちなん」に制度の概要を掲載している。 ③日南病院は「指定医配置医療機関」として、当該手当受給申請に必要な診断書に対応している。また、患者様から相談があれば職員が対応している。 2. ①公営住宅として管理している、県営住宅（15戸）町営住宅（47戸）特定公共賃貸住宅（なごみの里を除く20戸）計82戸のうち、単身及び世帯用は34戸ある。入居要件に照し合せて個別に対応している。 ②提案内容は、実績のある市町村の状況を参考にしながら検討していきたい。まずは現在の各種支援制度の見直し検討、集落支援員の活動充実など地域と引き続き連携を深めていきたい。 3. ①プラスチックにかかる資源循環の促進等に関する法律は基本構想に追記している。具体的な実施方針については西部広域で検討し、今後の基本設計に反映していく予定である。

②基本構想は「2050年に温室効果ガス実質排出ゼロ」を考慮していない目標設定に基づいて策定されている。これは国、県、町の「2050年に温室効果ガス実質排出ゼロを目指す」宣言に反するものではないか。 ③用地選定方針では日南町も最終処分場の候補地に含まれている。もし選定委員会で日南町内の地域が最終処分場の最適地と判断された場合、町長はそれを受け入れるのか。	②実質排出量ゼロとは温室効果ガス排出量と森林等による吸収量との均衡を達成することであり、基本構想が宣言に反するものではないと考えている。 ③用地選定は今後段階的に整理されていく予定であり、現時点でその判断は時期尚早と考える。
---	--